

太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所 第10号 平成17年4月

本号の内容

- コンクリート打設まであとわずか！
- 平成17年度工事概要
- ワークショップを開催
- 企業局からのお知らせ
- もりまち昔話「次郎柿の原木」
- 来て見て太田川ダム

コンクリート打設まであとわずか！

◀パッチャープラント



左岸

右岸



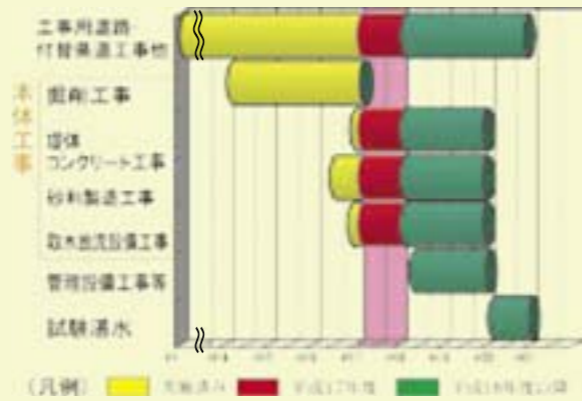
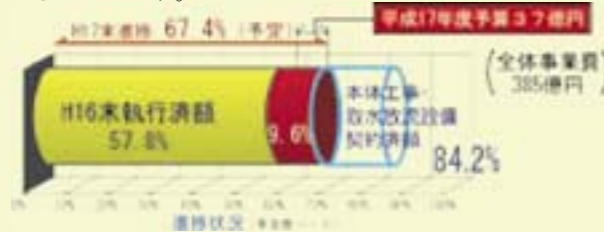
- ◎ダムサイト左岸の掘削が、ダム天端から5.8m下がった標高230mのところまで進みました。右岸の掘削は6.3m下がった標高225mまで進み、計画基礎岩盤まであと7mとなりました。
- ◎コンクリートを製造するパッチャープラントも姿を見せはじめました。

太田川ダム建設事業進捗状況

平成17年度太田川ダム建設事業は要求どおり37億円の国庫補助事業予算が認められ、平成21年4月の供用開始に向け順調に事業を進めております。

太田川ダムは、平成元年度に建設事業着手し、平成17年度予算37億円を含めた進捗率は約67%になります。

なお、本体工事・取水放流設備契約額を含めると、84%を超えた進捗となっています。



もりまち昔話「次郎柿の原木」

むかし、長雨で太田川が大洪水となり、いたる所で堤防がきれて、町中には水が溢れ、雨もやみ水がひいた頃、町の人の手で堤防をなおすことになり、森の五軒町に住む松本次郎さんも、近所の人たちと一緒に川に出て働きかけました。

夕方になって仕事も終わり、「どりや、帰ることにするか。」と次郎さんが川で手を洗っていると、緑の葉を三つ四枚つけた小さな木の枝が、手元に流れよってきました。拾いあげてみるとカキの木の枝でした。次郎さんは、それを拾って帰り家の庭にさし木しました。

枝は、根づいてどんどん大きくなり、数年後、在来のカキとは、少し形が違った大きくてみごとな実がなりました。食べてみると、今までに食べたことのない甘いすばらしい味でした。

次郎さんは、大変喜んで近所の人にも分けてあげました。カキをもらった人たちは、口をそろえて、その味をほめ、枝をもらって帰ってはつぎ木しました。そのため、このカキを作る家は森町だけでなく、近郷、近在に広がりました。

いつの頃からか、このカキが次郎ガキと呼ばれるようになった。今では、森町の名産に数えられております。

次郎さんが、拾ってきたカキの木は、現在次郎ガキの原木として、静岡県の天然記念物の指定を受けて、五軒町で毎年秋になるとおいしく実をつけています。

※森町少年ふるさと運動で子供たちが集めた「森町に残る昔話」より



来て見て！「太田川ダム」

ダム本体工事が本格化するのに伴い、太田川ダムを見学する人が年々増加しています。(左図参照)流域の方々から県外の方まで、たくさんの方が見学に訪れ、ダム建設現場と自然を直に体感していただいております。

平成十七年度からは、いよいよコンクリート打設がはじまります。ダムができあがる様子を見て是非、現場で見学して下さい。(申し込み方法は下記参照)

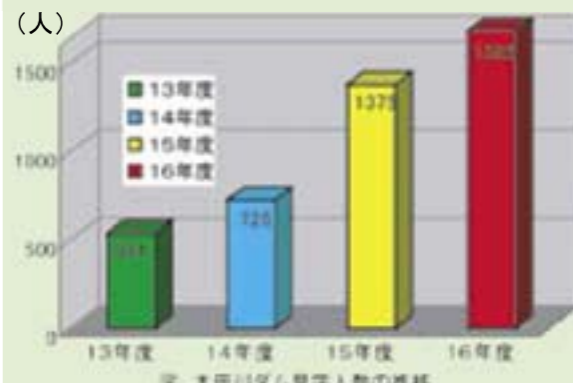
これからも、県民の皆さんに太田川ダムの大切さを認識してもらい、えるように努めてまいります。

アクティ森から車で約15分

展望台



ダムサイトを一望！！いつでも誰でもご利用いただけます。



内容についてご質問等ございましたら……

静岡県太田川ダム建設事務所
〒437-0215 静岡県周智郡森町森1582-1
TEL: 0538 (85) 2025 FAX: 0538 (85) 0885
http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/oitagawa1/index.html
e-mail: otagawa-kouji@pref.shizuoka.lg.jp

(水道・水質について)
静岡県企業局水道室
〒420-8601 静岡県静岡市追手町9番6号
TEL: 054 (221) 2167 FAX: 054 (251) 5381



太田川ダムを見学してみませんか？

地域を守るダムが、どのように造られていくのか、是非、現場でご覧ください。

(申し込み方法)
まずは、お電話でお申し込みください。
太田川ダム建設事務所 工事課企画調査係
電話 0538 (85) 2025
※平日に10名以上の団体で受け付けています。



静岡県企業局からのお知らせ

遠州広域水道用水供給事業(太田川系)の水道施設整備状況

平成16年度末までの進捗率

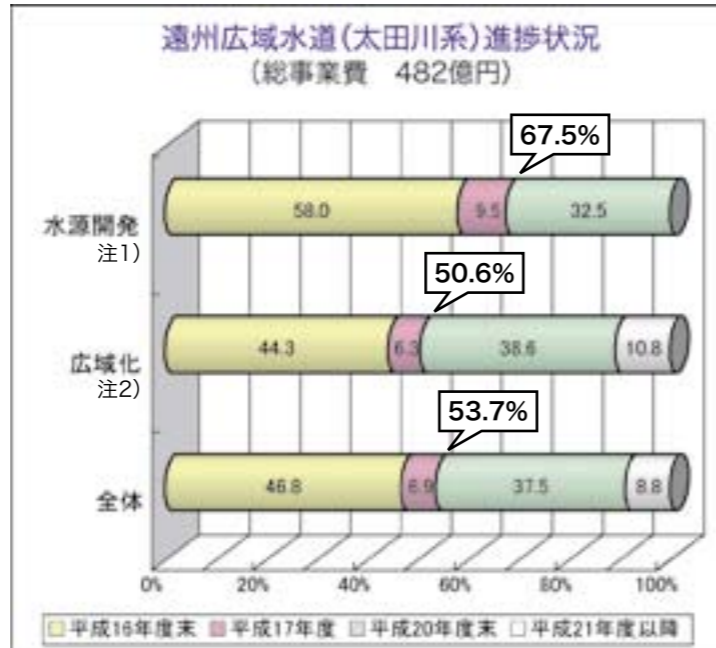
- ・水源開発：58.0%
- ・広域化：44.3%
- ・事業全体：46.8%

平成17年度末までの進捗率(見込み)

- ・水源開発：67.5%
- ・広域化：50.6%
- ・事業全体：53.7%



森ポンプ場施工状況



注1) 水源開発：太田川ダム建設の負担金
注2) 広域化：管路施設・浄水施設設備費

遠州広域水道用水供給事業Q&A

質問	◎東海地震のとき、水の供給が心配です。遠州広域水道の施設は、地震時に大丈夫ですか？
回答	◎遠州広域水道の施設は、耐震性を考慮して新設整備や補強工事を行っており、 耐震性に優れています。
答	◎また、水源の多元化、既存施設の有効利用、送水管の相互連絡等により、 地域間の相互融通 も図ることができます。

<補足説明>

- ①太田川系の施設については、阪神淡路大震災後に改正された**新しい基準**に基づき設計、整備をしており、耐震性に優れたものとなっています。
- ②太田川系では、新設管路はすべて**耐震管路**(耐震継手ダクタイル鋳鉄管)とし、また、水管橋のような地表部に露出する構造を極力避け、推進工法で川を横断するなど、**地震に強い構造**を採用しています。
- ③既に整備されている中遠系や湖北湖西系の施設についても、耐震計画に基づき**耐震補強工事**を順次進めています。
- ④新潟県中越地震において、耐震管路の被害は**皆無**でした。
- ⑤新潟県中越地震において、**最も不足して困ったのが「水」**でした。
- ⑥遠州広域水道用水供給事業により、平常時はもちろん、地震時・事故時・湯水時等の異常時にも、**安心・安全な水を安定供給**します。

平成17年度工事の概要

- ダムサイト周辺では、コンクリート製造設備(バッチャープラント)・運搬設備(クレーン)を設置します。
- 夏頃から本体コンクリート工事に着手します。全体数量238,000m³のうち平成17年度末には約70,000m³の打設が完了します。
- コンクリートの材料となる砂利(碎石)の製造を進めます。
- 間伐材を利用するなど、環境や工事費の節減に配慮して付替林道工事を進めます。



原石山掘削状況



◎付替林道工事
平成17年度は、本川左岸と杉沢左右岸の各工区で工事を予定しています。
▼杉沢右岸林道



▲間伐材を使用

◎太田川ダム周辺環境整備ワークショップを開催

～親しまれるダムづくりを目指して～

ワークシヨップとは…地域住民の意見を反映した計画づくりの場

班に分かれてグループ討議

模造紙に夢を貼り付けます

地元住民や、太田川流域でダムに関心のある方など二十名が、ダム湖周辺の環境整備について話し合いました。

- ・今の自然を活かして整備する
- ・四季折々を楽しめる場所にした
- ・アクティ森との連携を図る
- ・星・お月様を楽しめる場所にした
- ・人が集まるようなイベントを開催する
- ・など夢のある多くの意見が出されています。

本年度も引き続きワークショップで具体的なダムの利用を検討する予定です。

(第1回H17.1.14 : 第2回H17.2.21)